

鹿角市花輪出身の川又貴仁さん(40)が社長を務めるスキークス大手メーカー「KFアテイン」(仙台市)が、雪が屋根に積もる前にその重さで滑り落ちる屋根用塗料添加剤と、除雪車の除雪板とロータリーへの着雪を防ぐ塗料を開発した。2009年に特許を取得、昨年4月から販売している。

ワックスメーカー
KFアテイン(仙台市)
鹿角市花輪出身の川又社長



屋根用塗料添加剤と除雪車用塗料を手にする川又社長＝仙台市宮城野区扇町の仮設事務所前

作業軽減へ塗料など開発

屋根用塗料添加剤の商品名は「陸王」。「雪下ろし作業が少しでも軽減できたら」(川又社長)と開発した。滑りと撥水の効果を両立し、屋根に氷の層をできにくくしたのが特徴。既存の屋根用塗料に3%添加すると、雪下ろしが不要になるといふ。鹿角市で2年間実験を行って商品化した。

氷の層ができていくため、雪が滑り落ちる際の摩擦による塗装の剝離を防ぐ効果もある。雪国では通常4～5年で屋根の塗り直しが必要となるのに対し、添加剤を使うと8年前後に延びるといふ。

価格は標準的な一軒家の屋根(1000～1200平方メートル)で3万～4万円。雪下ろしによる転落事故を防ぐ効果も期待される。

一方、除雪車の除雪板とロータリーに雪がつきにくくなるよう開発したのが「雪王」。既存の塗料に比べ3～4倍の200～250時間にわたり効果が持続するとしており、再塗装による維持管理費が軽減される。

初年度の販売実績は、屋根用が本県の約50棟を含む約130棟、除雪車用は本県の約1500台を含む約4千台で、合わせて約1千万円。川

又社長は「本年度は屋根用850棟(うち本県150棟)、除雪車1万3千台(同2千台)に伸ばし、売り上げも4倍にしたい」と話す。

同社は05年創業で、人材派遣業と飲食店を営んでいたが、08年に転業。川又社長の姉がスキーの国体選手で、姉を担当していたワックスマンから得た知識を生かし、スキーやスノーボードのワックスのほか、船舶の船底にフジツボなどがつきにくい塗料添加剤を手掛けていた。

しかし、東日本大震災で仙台市宮城野区蒲生にあった社は津波で流失し、主力だった船舶用塗料添加剤の事業が頓挫。同区扇町の仮設事務所まで再起を図り、除雪関連事業に着手した。

(滑川毅)

■ 屋根の雪下ろし不要 ■ 除雪車の着雪を防止